

JUN通信

高木 純の市政だより



市議会議員
高木 純

小説「大河汪汪」(たいがおうおう)

善入寺や学駅が舞台

明治から昭和までの善入寺や川島町の学駅を舞台にした小説が刊行されました。著者の竹内菊世さん(徳島ペンクラブ会長)は阿波町久勝出身で、徳島大学に通学するために当時は木造だった沈下橋(現在の潜水橋)で市場から善入寺に渡り、善入寺からまた沈下橋を渡って、学駅から汽車に乗ったそうです。当時の沈下橋は大水ですぐに流され、そんな時は渡し船が出ていたそうです。小説ではその当時の暮らしが描かれています。「大河汪汪」は、川島駅前前の山本書店で発売中。278ページ。1300円。



川島こども園の完成予想図

旧川島庁舎が 旧川島町役場

旧川島町役場が「認定こども園」になるため大幅改装されます

旧川島町役場で合併後は川島支所だった川島庁舎が「認定こども園」になるため大幅改装されます。

「認定こども園」とは、文部科学省管轄の幼稚園と、厚生労働省管轄の保育所を「合体」させて小学校就学前の子供に対する教育や保育を行い、保護者に対する子育て支援を総合的に提供するものです。

定員は0歳〜3歳まで100名。4歳児、5歳児それぞれ50名の合計200名で川島町在住の児童が優先されますが、空きがあれば鴨島町や山川町

からも入園できます。こども園の最も大きなメリットは4・5歳児の預かり保育(夏休みも含む)ができることで、共稼ぎ世帯には朗報です。

川島庁舎の改装は6月末からはじまり、1階には0歳から3歳児。二階に4・5歳児の保育室ができます。庁舎の駐車場だった所には築山やブランコなど遊具が設置されます。こども園は来年4月1日開園で、同時に川島町の幼稚園や保育所は全て廃園となるので寂しくもあります。

(じゅん通信)

JUN通信

新たな四年間がはじまりました。今度は一党一派に属さない無所属市民党の立場で頑張らせて頂きます。

市議会選挙をたたかう中で、このJUN通信(ジュン通信)がたくさんの方に読まれていることを実感しました。「楽しみにしている」、「隅から隅まで読んでいます」などの励ましの声がたくさん、しかも、これまでに全く面識のない方からも寄せられました。

このJUN通信は、これまで議会報告を兼ねて、市政の様子を市民の皆さんにお知らせするために、2500枚印刷して、川島町を中心に直接みなさんのお宅に手配りしていました。

また配らせて頂きます
どうかお読み下さい

しかし今後は市内全域配布を目標にしたいと考えております。

再選後初めてJUN通信を発行するにあたり、市民の皆様にしつかりとお読み頂いていることを自覚し、「読みやすく、分かりやすく」をモットーに、これまでに以上に親しまれるJUN通信を発行していきたいと考えております。

どうかこれまで同様、JUN通信をお読み頂き、ご意見ご要望をお寄せ頂けますよう、心よりお願い申し上げます。

(公選法178条で当選の御礼は禁止されていますからここでお礼は書けません)

高木 純